

「子どもにわかりやすい教科書を」呉教委へ要望書提出

2014年3月4日、岩崎共同代表と増野共同代表を含む当会の会員9名で、呉市教育委員会へ「子どもたちにわかりやすい教科書を届けるよう要望します」(全文は裏面にて記載。)との要望書を届けました。対応は学校教育課でした。事務局長の村田が要望書を読み上げ、教科書調査研究の「観点・視点・方法」を、教科書を使う生徒にとっての「わかりやすさ、読みやすさ、学習意欲をかき立てる」ものに改善するよう求めました。また、当会は、この要望に対して、懇談の場をもって答えてほしいと伝えました。呉市教委は「本日は、

要望書を受領するだけとお聞きしていたので、懇談の可否までは即答できない。市民の皆様の想いはお聞きしました」と答えました。岩崎共同代表が、「この間育鵬社教科書について皆で学習してきたが、やはり、偏っている気がする。子どもが多面的な思考が出来るような教科書を選んでほしい」と訴えました。参加した会員からは、「懇談の約束をしてくれなかったのは残念。」「これからも教育委員会へ申し入れをし続けたいといけない」といった感想が出されました。

学 習 会

安倍教育再生の暴走を止める広島集会在開催されます
是非ご参加ください

日時 : 3月16日(日)13:30~16:30

場所 : 広島市留学生会館

講師 : 高嶋信欣さん(琉球大学名誉教授)

資料代: 1000円

継続加入のお願いとカンパのお願いのお手紙も一緒に入ってるよ。よろしくお願いします!

4月15日に鯛の宮神社で行われる第六潜水艇追悼式を一緒に見学する人を募集しているよ。参加希望の人は村田まで連絡してね。



くまちゃん

・ ・ ちょっと一言 ・ ・

新聞にも取り上げられましたので、皆様もご存じかと思えます。呉市内の阿賀中学校校長が、保護者の生徒に対する暴力放置、教職員へのセクハラ発言等で2カ月の停職処分をうけました。昨年12月保護者が生徒に対して行う暴力を、制止しようとした教職員に対し「止めるな」「親に任せろ」と引き留め放置した結果、生徒は5~6針縫うけがをしました。2014年3月3日に日本共産党の奥田議員がこの問題に対して議会質問を行った際に呉市教育委員会は、「今後二度とこのような問題が起こらないようにして、信頼回復に努めたい」と答えました。しかし、奥田議員が、「市教委の対応が甘かったことが、この校長の横暴を加速させた

のではないかとさらに追及すると、「そのような言われ方には不満が残る」と逆切れしていました。しかし、体育大会で軍隊式の行進を生徒に披露させ、市教委から高評価を得ていたと校長自身が自慢していたことや、この校長が育鵬社教科書を選定した委員(社会科)に選任されていたことなどから、市教委がこの校長と一体となって、育鵬社教科書を採択することに力を入れていたとも推測されます。

子どもたちが安心して学べる学校より、大人の事情が優先される教育委員会ならば、私たち市民は、「そんなことはおかしい!」と声を大きくしなくてはなりません。